

その空き家、活用しませんか  
空き家対策へ補助します

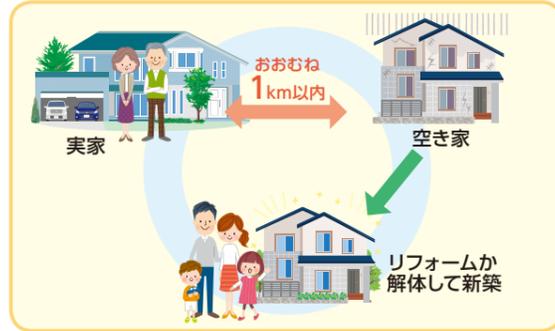
☎ 空家活用センター ☎027-898-6081

空き家対策補助事業を実施します。受付期間は①②③は11月29日(金)まで、④は6月25日(火)から7月31日(水)まで(予算額に達し次第終了)。実績報告は来年3月23日(月)までです。必ず事前に空家活用センターに相談を。事前相談がない場合や着工後の申請は受け付けできません。



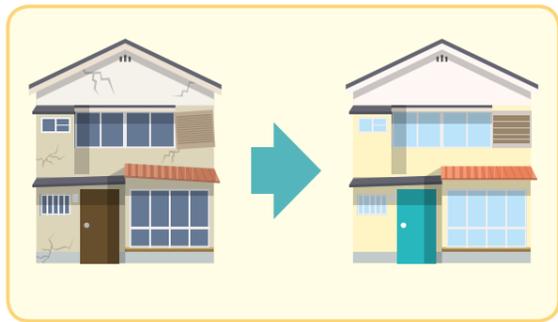
①老朽空き家対策事業

昭和56年以前に建築された空き家の解体工事費用を補助します。



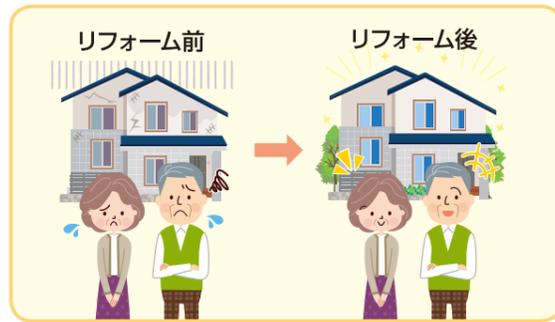
②二世帯近居同居・住宅支援事業

実家からおおむね1km以内の空き家をリフォームや解体して新築するための工事費を補助します。



③空き家の活用支援事業

空き家のリフォームやまちづくりの拠点などとして活用するための改修工事費を補助します。



④外装改修事業

60歳以上の方が居住している築20年以上の住宅で、屋根や外壁などの外部に面している部分の改修を補助。世帯に、昨年の所得金額600万円以上の人がないことが条件です。6月4日(火)から21日(金)までに事前に相談してください。

購入費を補助します  
電話で詐欺被害防ぐ

☎消費生活センター  
027・212・3260

高齢者の消費者トラブルは電話勧誘から始まるものが多いといわれています。本市では被害の未然防止を目的に、詐欺被害などを防ぐ機能がついた電話機の購入に補助を実施します。

対象機種は①着信時に電話相手に警告メッセージを発する機能がある②通話内容を自動録音する機能があることの2つの条件を満たす新品の電話機です。購入前に必ず消費生活センターに電話し、仮申請してください。

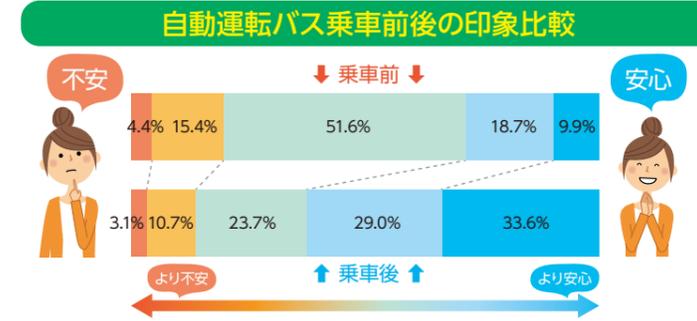
対象 本市に住民登録がある市内在住者で、世帯全員が65歳以上の入

補助額 購入費の半額(上限5,000円。100円未満切り捨て)

申し込み 仮申請後、申請書が郵送で届いたら電話機を購入し、必要書類を同センターへ持参

公共交通の実証実験が終了  
課題解決に生かします

☎ 交通政策課 ☎027-898-5939



●自動運転バス  
上毛電鉄中央前橋駅とJR前橋駅を結ぶシャトルバスで、3月末まで行った自動運転バスの実証実験。市と群馬大、日本中央バスの3者で行いました。期間中は多くの人の利用が。自動運転に対する不安感についてアンケート調査し、印象を5段階のうちから選択してもらった結果、左図のとおり乗車前と乗車後で不安が解消されていることが分かりました。

●城南地区の交通実証実験  
昨年12月から2月28日まで城南地区でデマンドタクシーの実証実験を実施。62日間の運行で778人の乗車が確認され、大型ショッピングモールや病院への移動が多数を占めました。また、県が実施したアンケート調査の結果、普段の外出に困っていたり、今後の外出手段に不安を感じたりしている人の利用が多かったことが分かりました。今後は、この分析結果や利用者の意見を参考に本格運行に向けて準備。公共交通不便地域の解消を目指します。



自動運転バスには、運転の安全確保や自動運転への不安解消のため、車両の位置情報などをリアルタイムで把握するタブレットなどを搭載していました。

運転手不足の解消や交通ネットワークの確立に向け、本年度も引き続き実証実験を予定。詳しくは決まり次第お知らせします。

アプリで一括検索  
県内の鉄道とバスを網羅

☎ 交通政策課  
027・898・6302

県内全ての鉄道と路線バスに対応した公共交通・観光・健康情報アプリ「ぐんま乗換コンシェルジュ」が公開されました。鉄道やバス、タクシーの経路や料金、所要時間などを一括検索できる他、地域のウォーキング・トレッキングコースの案内など、健康づくりもサポートします。また、グーグルマップでも県内全ての路線バスと鉄道情報が検索可能になりました。

